

電力各社で相互評価する訓練(中央制御室と緊急時対策本部の連携)の実施について

2020年10月21日

電力各社は、緊急時における現場の対応能力向上を目的に、各社が実施する訓練を相互評価(注1)し、この評価結果を踏まえて更なる改善に繋げる取り組みを実施しています。

本日、当社はこの評価を受けるため、中央制御室と緊急時対策本部の連携訓練を実施したことをお知らせします。なお、この評価には原子力規制庁も参画しています。

今後、訓練状況を撮影したビデオを電力各社と原子力規制庁へ送付し、今回の訓練内容を評価いただく予定です。

当社は、この評価結果を踏まえて更なる改善を図り、引き続き緊急時の対応能力の強化を図って参ります。



中央制御室を模擬したシミュレータの訓練の様子



緊急時対策本部の訓練の様子

注1 電力各社が実施する訓練を相互評価する取り組みは、原子力規制庁が電力各社単独での防災訓練では対応能力の向上に改善の余地があるという課題を抽出したことをきっかけとして、事故の状況に応じた対応能力向上を目的に、全電力で2017年から実施しています。

【電力各社で相互評価する訓練に関するこれまでのお知らせ内容】

- ・電力各社で相互評価する可搬型設備を用いた注水訓練の実施について

([2019年10月31日](#)お知らせ済み)

以上